

■ 令和8（2026）年度春選抜 FAQ（2026.2.25更新）

No.	項目	質問	回答
1	申請資格	他大学等から京都大学大学院博士課程に進学を予定している者にも申請資格はあるか。	通常枠は申請資格があります。令和8（2026）年4月に本学の博士課程等に在籍することが要件となります。
2	申請資格	D2以上は採用しないのか。	プログラムは育成に重点が置かれているため、通常枠はD1のみの採用です。
3	申請資格	休学中に申請できるか。	申請は可能です。支援開始時に復学していることが前提です。
4	申請書類	成績はKULASISからダウンロードできるものでもよいか。	修士課程の成績および学部課程の成績ともに、以下のいずれでもよいです。 ・証明書自動発行機で発行できるもの ・KULASISから印刷できるもの
5	申請書類	申請書の業績欄に査読中・投稿中のものを記載してよいか。	査読のある場合、採録決定済のものに限ります。判断に迷う場合は、「投稿中」など補足して記載してください。
6	指導教員確認書	実質的な指導教員と所属上の指導教員が異なる、または修士課程から博士課程に進学するにあたり、指導教員が異なる場合、どちらに依頼したらよいか。	（通常枠）様式2の「指導教員等としての責任等」に記載の研究費管理や研究指導が可能な教員に依頼してください。 （進学前採用枠）可能な限り博士課程進学後の指導教員に依頼してください。難しい場合、修士課程の指導教員でも構いません。 支援開始後に指導教員変更となった場合は、新しい指導教員の「指導教員変更確認書」を提出いただきます。
7	指導教員確認書	指導教員が退職予定の場合、現在は他大学で新しく赴任する予定の指導教員に書類を頼むことは可能か。	可能です。確認書を記載する指導教員等は現在他大学に在籍していても、本学に赴任予定であれば構いません。
8	指導教員確認書	教員へ確認書の提出依頼をするとエラーメッセージが表示される。	「①フォーム入力」が未入力の場合、依頼メールを送信する際にエラーメッセージが表示されます。「①フォーム入力」から主項目の入力及び保存したうえで、再試行ください。（Web申請システムマニュアル参照）
9	WEB申請システム	提出完了したか、確認したい。	提出が完了すると、申請システムトップページの「申請の提出」のチェックボックスにチェックが入り、「可否結果」の欄が表示されます。
10	WEB申請システム	WEB申請システムは24時間対応か。	はい、24時間対応しています。なお、メール等による問い合わせ対応時間は募集要項に記載の通りです。不明点等は時間に余裕をもってメールにてお問い合わせください。
11	WEB申請システム	ネット環境トラブルにより、提出できない。	期間後に申請することはできません。 また申請期間終了直前はサーバーが混み合う可能性があります。これによる遅延・トラブル等には一切責任を負いませんので、時間には十分余裕を持って申請してください。
12	WEB申請システム	申請システム上の「奨学金受給状況」については博士課程で受給予定のもののみ記載すればよいか。また、現在申請中で受給が確定していないものは記載する必要はあるか。	博士（後期）課程で受給（予定）のもののみ記載ください。申請中で受給が未確定のものも、「（申請中）」などと付記したうえで全て記載ください。